

# 迎春2018年元旦

## 連合中越地協幹事会 新旧役員引継ぎ会 兼 連合新潟対話会



# れんごう中越地協

第952号 2018.1.1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円  
購読料は会費に含む



### 新春にあたり

#### 連合中越地域協議会

#### 議長 矢島 良彦

新年あけましておめでとうございませう。

早い頃は東芝、最近では神戸製鋼、日産、スバルなどの不祥事が相次ぎ、日本のモノ作りの品質神話が揺らいでいます。ルールに反した企業が代償を払うのは当然ですが、背後にある構造的な問題が日本の多くの企業での統治機能を麻痺させており、当然労働組合がある企業ではその責任も大きいと言えます。神鋼が罪の意識を抱かなかったのは、設計段階で高い強度設定しており、水準を下回っても安全上の問題は無いと従業員が判断したからです。従業員も組合員であり、その判断は正しいかどうかの麻痺があったわけで、過剰な品質を追求したあまりの事故で、顧客企業の要求が極めて高い場合に陥りやすいルール違反です。

日産やスバルのケースで問題となったのは、完成車の最終検査において、資格のない従業員が担当していたものです。完成車検査は「ゼロ回目の車検」と呼ばれ、メーカーが国に代わって安全性を確認する行為で、ただ、法律上の技能は定義されていません。資格さえ取っていれば、法令上は問題がなかったと言えますが、ここでは検査の形骸化が大問題なわけです。日本車は各工程毎厳しい検査を行っていますので、最終段階で不具合が出ることはめったにないと言いますが、であるならば有資格者の厳しい点検が必要であるわけです。ただ、輸出車に関して先の安全基準に適合すれば法律に基づいた検査は必要ないようで、国内と国外との規制の問題もある意味改訂が必要なこと、労使で国への働きかけが重要な事かと思えます。

そして、事なかれ主義が蔓延していかないかと言うことです。神鋼のトップは、「納期を守り、生産目標を達成するプレッシャーがあった」と言いますが、そのことは当然ですが、数十年もの間不正が発覚しなかったのは、勇氣ある告発者がいなかったわけで、「事なかれ主義」や「長いものに巻かれる」文化が蔓延しているように疑ってしまいます。不祥事を起こした企業をバッシングして、騒ぎ立てるのは簡単ですが、本質的な解決にはなりません。それぞれの企業には労働組合が存在し、風通しの良い状態ではなかったのかも知れません。反省するべきは組織の有様で、企業の存在意義や判断基準は何なのかを問わないといけません。

地協の運動も、連合評価委員会から課題提起された地域に顔の見える地協活動をめざし、判断基準は組合員及び生活者という視点で日々活動を行っていかねばなりません。そして、連合は大企業だけの産物ではなく、その役割は未組織企業で働く労働者の底上げに役割をはたしていることも真剣に考え、日々精進して参りたいと思えます。結びに、本年が皆様にとって、幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

あけまして  
おめでとうございませう



議長	矢島 良彦	U A セン
副議長	横澤 勝之	自治労
副議長	羽賀 実	J A M 新潟
副議長	與口 篤也	電機連合
副議長	番場 睦	J P 労組
副議長	渡部 力也	電力総連
事務局長	小林 守	情報労連
事務局長	多田 義和	日教組
事務局長	金山 輝美	自治労
事務局長	飯田 浩二	U A セン
幹事	石井 正勝	J A M 新潟
幹事	金子 敬	ヘルスクエア協
幹事	多田 将行	自動車総連
幹事	小池 昭夫	J R 総連
幹事	羽深 良一	日教組
幹事	石坂 亮学	情報労連
幹事	青柳 文司	運輸労連
幹事	山崎 亮佑	私鉄総連
幹事	米持 信也	基幹労連
幹事	室橋 賢人	J E C 連合
幹事	山田 康浩	全水道
幹事	五十嵐 厚	見附支部
幹事	関口 善仙	小千谷支部
幹事	登坂 仁	北魚沼支部
幹事	半澤 英和	南魚沼支部
幹事	山口耕一郎	十日町支部
幹事	石田 千絵	S J ネット
幹事	加藤 一成	S J ネット
幹事	保科 博子	S J ネット
幹事	香名 稔	紙パ連合
会計監査	神田 茂信	全労金
会計監査	木田由紀子	事務局
書記	ながおかライフサポートセンター	事務局
コーディネーター	丸山 斉	事務局
コーディネーター	長谷川慧輔(見附)	事務局



### 新年のごあいさつ

長岡市長 磯田 達伸

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

連合中越様におかれましては、日頃から勤労者の地位向上や福祉の充実のため、様々な事業に取り組まれるとともに、行政や関係機関との橋渡し役としてご尽力いただき心より感謝申し上げます。

連合中越様が中心となって運営されている「ながおかライフサポートセンター」では、行政や弁護士、金融機関、社会保険労務士、カウンセラー等が連携し、一緒に解決の糸口を見出すまでのサポートをいただいております。市の「生活困窮者自立相談支援事業」として実施いただいている「長岡パーソナル・サポート・センター」とともに、勤労者の労働や生活全般の問題、生活困窮者の自立支援などにおける相談者に寄り添ったご支援は、悩みや不安を抱えている市民にとって大変心強い存在となっています。改めて感謝申し上げます。

雇用情勢につきましては、有効求人倍率の上昇や、最低賃金がプラスになるなど、明るい兆しが見え始めておりますが、依然として賃金格差や、結婚や出産に不安を感じている子育て世帯が見られ、誰もが安心して働ける職場環境の実現が求められています。また、過重労働化を招く人手不足や、正社員と非正規労働者の待遇差など、雇用をめぐる厳しい社会情勢が続いています。

長岡市では、地元産業の魅力発信や働き方改革の推進をより積極的に取り組むためのプラットフォームとして、連合中越様を始めとする関係機関とともに「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」を昨年5月に立ち上げました。このプロジェクトを通じ、関係機関・賛同企業と連携しながら魅力的で、働きやすい職場作りを進めてまいります。

さらには、長岡市はイノベーションの創出に挑戦しています。英知を結集してよりよい社会を先取りするとともに、産業を活性化させ、若者が希望を持って働ける場の創出を目指しています。

本年は長岡開府四百年の節目の年です。日本も世界も大きな変化の時代に向き合い乗り越えるための「人づくり」こそ、長岡が取り組むべきことだと考えます。次の百年にも長岡の誇りを残すため、市民が一致団結して「新しい米百俵」を目指します。引き続き連合中越の皆様をはじめ、関係機関の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多い年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。



### 新年のごあいさつ

見附市長 久住 時男

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、住んでいるだけで健康で幸せになるまち「スマートウェルネスみつけ」に向けた見附市の取り組みが、コンパクトシティ大賞、プラチナ大賞といった全国的な賞の最高賞に次々に輝きました。これまで市民の皆様とともに取り組んできたまちづくりが、これから生き残る地方都市のモデルとして高く評価された結果です。日頃より市のまちづくりに対しご理解いただき、多方面で活躍していただいている市民の皆様に、改めて感謝申し上げます。

この取り組みの中核となるのが、中心部への魅力的な施設の集約と各地域を結ぶさまざまな公共交通です。一昨年8月にオープンした「みつけ健幸の湯ほっとびあ」は、年間約20万人が来場する施設となり、道の駅パティオにいがた、ネーブルみつけなどと合わせると、拠点施設の年間来場者は約190万人にもなります。さらに今春には、みつけイングリッシュガーデンに新しい施設もオープンします。ゆっくりと食事やお茶を楽しめ、見附産品も買える場所になる予定です。今年も、こうした外出のきっかけとなる魅力づくりにあわせ、公共交通の利便性の向上にも取り組み、一層市民が自然と歩き、人と交流するまちづくりに力を入れてまいります。

昨年9月から分譲を開始した住宅地「ウェルネスタウンみつけ」は、今年3月に造成工事を終え、4月の住宅展の開催を皮切りに、本格的な販売が始まります。この住宅地には、これまでのまちづくりで培った、健幸なまちに必要な景観や道路、住宅などの知恵が数多く詰まっています。ぜひ、多くの方々からご覧いただき、健幸なくらしへの理解を深めていただく機会になればと期待しています。

人口減少の流れの中で見附が輝くためには、各地域それぞれの文化や伝統を活かしつつ、その地域を愛する市民自らの取り組みが不可欠です。その中心となる地域コミュニティ組織は、今年発足する見附町西部地区をもって、市内全域で設立されます。各地域では、これまでも数々の素晴らしい取り組みが行われており、これが必ず、将来の見附の財産になると確信しております。これまで同様、各組織の活動を力強く支援してまいります。

また、今年の夏には、現在整備を進めている新しい給食センターが稼働します。将来の施設修繕や運営の費用負担を最小限に抑えるため、施設を有効活用できる民間事業者と連携します。こうした仕組みは全国初です。今後も将来にわたって持続可能なまちとするため、あらゆる分野で既成概念にとらわれず、覚悟を持ってチャレンジしてまいります。

スマートウェルネスみつけの実現のカギとなるのは、協働です。常にまちの未来図を多くの人と共有し、ともに汗をかきながら、夢と希望のあるまちづくりを行ってまいります。皆様にとりまして、幸多い年であることを心よりお祈り申し上げ、新春を迎えてのごあいさつといたします。

## 謹賀新年



本年も変わらぬご愛顧をお願いいたします



長岡支店 TEL.0258-33-6318  
長岡北支店 TEL.0258-34-5010

## 謹賀新年

ZENROSAI NEWS 1517A034

本年も変わらぬご愛顧をお願いいたします



## マイカー共済

自動車総合補償共済

掛金見積もり受付中!

お問い合わせや資料請求は総合生協までご連絡ください。



全国労働者共済生活協同組合連合会

新潟県総合生活協同組合

中越支局 TEL 0258-33-7770

www.niigata.coop/

新潟県では、総合生協が全労済から業務を受託して実施しています。